

第 73 期第 1 回男女共同参画推進委員会議事録

日 時: 2017 年 4 月 29 日(土)10:00~14:00

場 所: 日本物理学会 大会議室 (東京都文京区湯島 2-31-22 湯島アーバンビル 4 階)

出 席: 野尻(委員長)、遠山(副委員長)、糸井、佐野、高安、曹、永廣、福島、藤井、藤原、間宮、
本橋、山本(以上委員)
板倉(オブザーバー)(~11:00)、
根岸、岡村、宮野(事務局)

スカイプ出席: 森(オブザーバー)、

欠 席: 細越、笹尾(オブザーバー)

以上敬称略

<配布資料>

資料 1_72-3 男女共同参画推進委員会_議事録(案)

資料 2_【審議】海外出張計画(男女共同)IUPAP

資料 3-1_GS10 プログラム

資料 3-2_Online registration for International Conference on Women in Physics (ICWIP) 2017

資料 4_第 73 期委員名簿(案)

資料 5_主催・共催・協賛・後援等申請書

資料 6-1_「女子中高生夏の学校」について

資料 6-2_夏学消耗品費

資料 7-1_託児室_物理学会理事会への要望書

資料 7-2_実行委員会託児室担当

資料 7-3_託児室スペースチェック事項

資料 7-4_託児室収支一覧

資料 7-5_託児室収支一覧 graph

資料 8-1_物理学会データまとめ

資料 8-2_会員および第 72 回年次大会登壇者男女比

資料 9_男女共同参画委員会主催物理学会シンポジウム報告_鹿野

資料 10-1_男女共同参画学協会連絡会第 15 期第 2 回運営委員会報告

資料 10-2_第 17 期学協会連絡会幹事タイムスケジュール(案)

資料 12_特別研究員-RPD10 年史に係るご寄稿のお願いについて

資料 13_ATHENA プログラムとその後の発展について

(資料 11 は欠番)

自己紹介が行われた。

【議題】

1. 前回議事録確認

- ・各自確認し、気づいた点があれば会議後に連絡することとなった。
- ・議事録（案）が承認され次第、間宮委員が HP にアップする。

2. 理事会報告（野尻）

- ・海外出張計画が理事会で承認されたことが報告された。
- ・議題 7 の物理学会の託児室について概要が説明された。

3. 国際関係(報告)

- ・GS10 の準備状況について（森）

日本物理学会からは野尻委員長、遠山副委員長（ポスター）が参加し、森オブザーバー福島委員、鹿野前委員、板倉オブザーバーがセッション参加する予定であると報告された。多くの協賛金への協力への感謝と、学生への参加呼びかけのお願いがされた。

- ・IUPAP WIP（2017年7月、英国）の準備状況について（野尻）

日本物理学会からは野尻委員長、遠山副委員長が参加しポスター発表等を行うことが説明された。

4. 今期の担当と今期の活動について（野尻）

- ・以下の通り担当が決定された。

野尻委員長 日物応物（学協会連絡会）

遠山副委員長 学協会運営委員会 チームリーダー

糸井委員 学協会運営委員会

佐野委員 学協会運営委員会（アンケート）

高安委員 シンポジウム

曹委員 学協会運営委員会（アンケート）

永廣委員 女子中高生啓発（夏学）

福島委員 学協会運営委員会

藤井委員 広報

藤原委員 シンポジウム

細越委員 女子中高生啓発(山本先生が最終的に確認)

間宮委員 広報、託児室

本橋委員 物理教育（夏学）

山本委員 女子中高生啓発（夏学）

- ・住所変更等ある場合は事務局に連絡をすることが確認された。
- ・名簿修正後、事務局から間宮委員に提出し HP にアップする。

5.関西科学塾についての共催(野尻)

- ・5月理事会に審議事項として共催申請を提出する。分担金は5万円。

6.夏学関係（山本）

女子中高生夏の学校 2017年の準備状況と2018年以降の長期的見通しについて議論

- ・2016年からの持ち越し課題として以下の説明がされた。

○教員研修プログラムは2017年見送り。

○2018年度以降の運営資金計画

来年度以降、JSTの支援金（300万円）がもらえないかもしれず、対応は寄付委員会で担当することが決まっている。企業から直接ではなく経団連などを経由して寄付を募る、クラウドファンディングを活用するなどの案がでていいる。物理学会は現在は後援のため費用負担はできないが、費用の支援が要請される場合は翌年度の予算立てが9月末であるため、それまでに共催申請や、その他要望の申請をする必要がある。

以下が決定、報告された。

- ・中本氏にも男女共同参画推進委員会にオブザーバーとして参加いただく。
- ・実施期間中は岡村職員が補助として参加する。
- ・実験実習講師は女性で選定中。TAは探している最中。
- ・ポスター内容を変更。紹介する内容を実験できるよう、消耗品（偏光シート、セロハンテープ、アクリル板）を物理学会の費用で購入する。
- ・後援申請を費用負担が可能な共催申請にできるか男女共同参画推進委員会でメール審議した後、6月の理事会に付議する。

7.物理学会の託児室について（野尻）

・経緯と概要が説明され、4月理事会において大会担当理事、男女共同参画推進委員会で検討するよう決定されたことが報告された。

・2017年秋季大会の物性会場世話人に間宮委員が加わることとした。

・現在は学会直前、当日の連絡等の対応を世話人が行っているが、今後は大会実行委員会、もしくは大会担当で対応していただけるように大会担当と相談する。

・世話人会から男女共同参画推進委員会にオブザーバー参加してもらえるよう要請することとなった。

8.物理学会における diversity 調査の結果報告と議論（曹）

調査結果について報告され、以下のことが決定された。

- ・新たに退会者、入会者の年齢別男女比率を出す（事務局）
- ・シンポジウム等のデータについては「物理と社会」は除いて計算する。
- ・次回理事会に報告事項として今回の資料を提出する

9.物理学会年会シンポジウムの報告(高安) 講演の報告、次回年会の企画について

次回年会の報告について、以下のことが決定された。

- ・昨年に続きポスター展示は実施する。(学協会アンケート、物理学会の属性調査など)
- ・昼食時の交流会を開催し可能であれば昼食を提供する。
- ・交流会には講師（話題提供者）を用意する。
- ・交流会の企画書を9月の男女共同参画推進委員会までに作成する。
- ・5月理事会で会場確保については大会担当理事に、昼食の用意は企業協賛担当理事に、野尻委員長から相談する。
- ・どのように大会申込をすればよいか（インフォーマルミーティングか、他の形態か）事務局で大会担当職員に相談する。

その他、以下の提案がされた。

- ・女子学生が参加しそうな企画にする。
- ・育メンを講師として体験談を話してもらってはどうか。
- ・若い方に講師をお願いするとよいのではないか。
- ・昼食代として確保する予算は3万円が目安。

10.男女共同参画学協会連絡会について

・第2回運営委員会報告（遠山）

報告書にそって報告がされた。

・アンケート解析状況報告（佐野）

プロジェクター投影と口頭により報告がされた。

回答数は17,431 日本物理学会会員からの回答数は1,292 で参加学会では2番目に多かったことが報告された。

・次期幹事学会の準備状況について（遠山）

タイムラインに沿って説明がされた。

具体的な仕事は運営委員会開催（年3回）。100名規模で会場確保が必要。

シンポジウム開催。2018 年終わり～2019 年の初めに会場確保、テーマ決定する。

予算は約 200 万円。

予算はなるべく使わず、次回アンケート用にお金を貯める方針。

幹事学会の委員長は野尻委員長が担当する見込み。

11.男女共同参画のホームページについて

夏学等、物理学会の活動を広報するページを作成し、物理学会のトップページからリンクを張れるよう検討する。

12.学振からの RPD 10 年記念誌への寄稿依頼と内容について（野尻）

金沢大学 青木真由美、千葉大学 石野両氏に依頼することとなった。

13.アテナプログラムについての学会誌への寄稿について（野尻）

野尻委員長が記事を作成中であり、今後継続的に寄稿することが報告された。

以上